

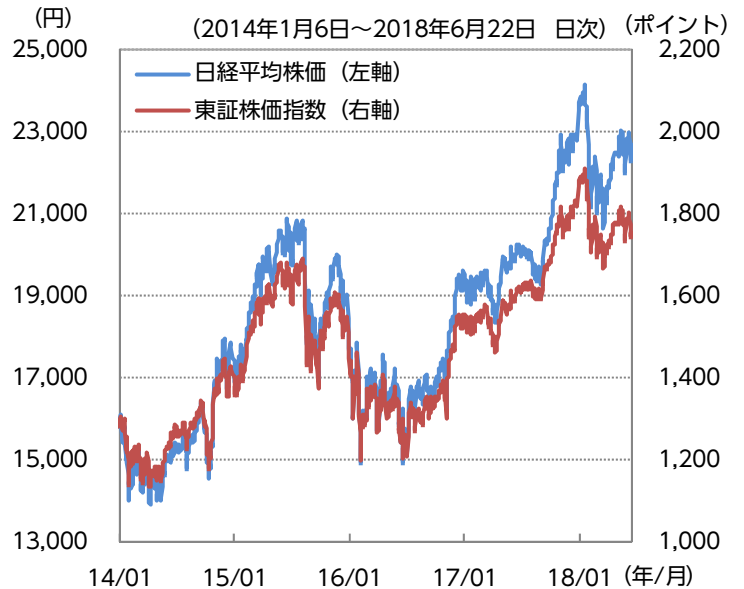
週間市場レポート

(2018年6月18日～6月22日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。米中貿易摩擦が激化し、当面の利益を確定する売りが広がったことや、大阪北部での地震被害状況を見極めたいとして積極的な売買は控えられたことから、週初は下落してスタートしました。週中はアジア株式相場の上昇を受け投資家心理が好転し反転したものの、石油輸出国機構（OPEC）総会の結果を見極めたいとして、週末は積極的な買いは手控えられました。（週末引け値：22,516.83円）

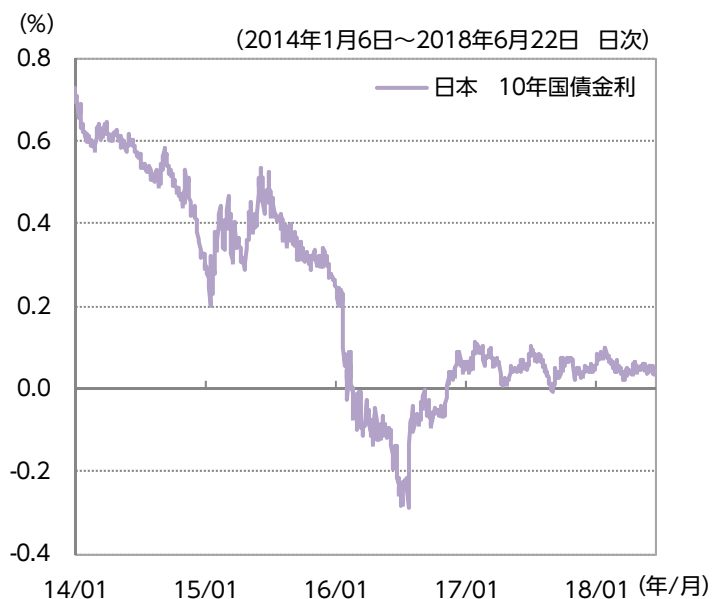


■ 週間では、日経平均株価は1.47%の下落、東証株価指数は2.47%の下落でした。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■ 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に低下となりました。日経平均株価の動きを背景に、一進一退の展開となりました。週末は米通商政策への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に価格変動が少なく安全資産とされる債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。（週末引け値：0.035%）



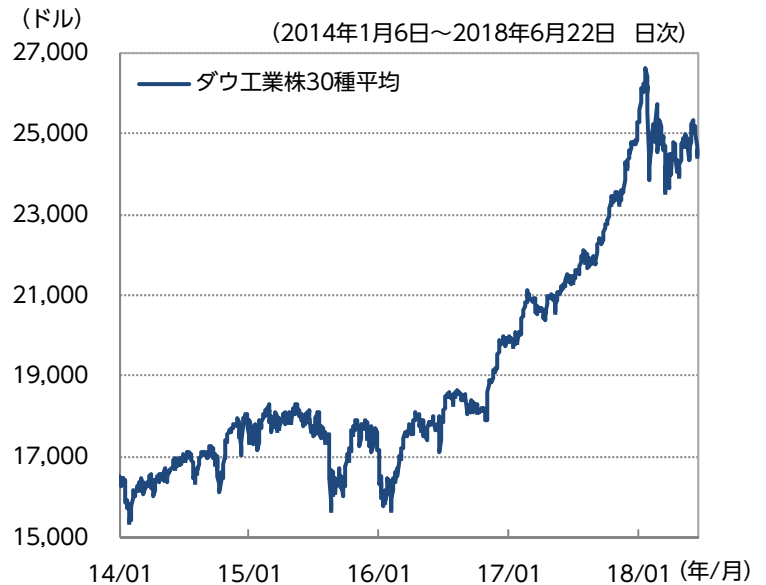
■ 週間では、0.003%の低下となりました。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。米中貿易摩擦懸念がくすぶり続け、週初より4営業日続落となりました。週末は、OPEC総会の結果を受け原油価格が上昇したことからエネルギー株を中心に買われ、前日比で上昇しました。（週末引け値：24,580.89ドル）
- 週間ではNYダウは2.03%の下落となりました。

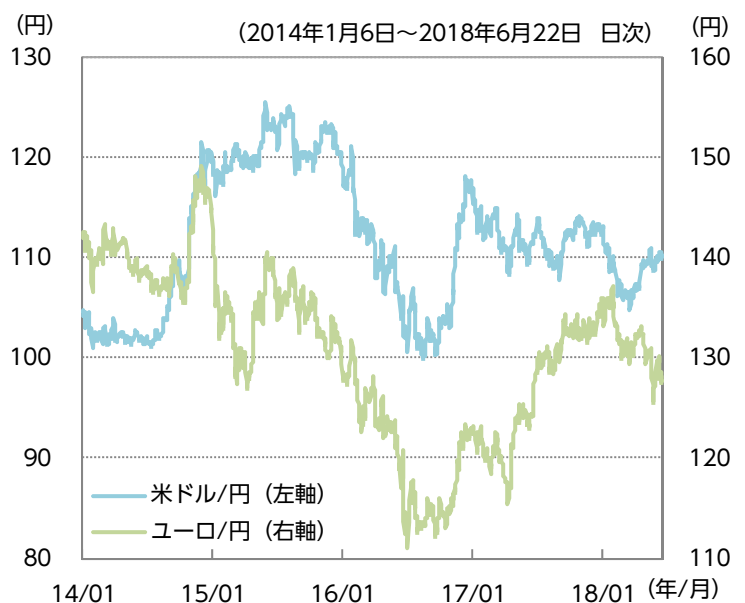


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。米中貿易摩擦への懸念を背景に日経平均株価が大幅に下落したことから投資家のリスク選好姿勢が低下し、相対的に低リスク通貨とされる円には買いが優勢となりました。（週末引け値：109円95銭～110円05銭）
- 週間では米ドル/円は0.62%の円高、ユーロ/円は0.22%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>